

令和7年度 第2回学校運営協議会議事録

1 開催日時

令和7年5月31日(土) 開会：午前10時 閉会：午前11時

2 開催場所

静岡県立三島南高等学校 会議室

3 出席委員数

6人(会長 大嶋 孝博・副会長 岩田 喜佐恵・委員 山下 巖・委員 植野 博美・委員 寺村 智穂・委員 宮内 真紀)

4 函嶺祭文化の部(一般公開)自由見学

(午前9時30分から開会まで・閉会后午前11時30分まで)

5 校長挨拶

生徒の様子については、中間テストや部活動の県大会、函嶺祭の準備など、とても忙しい日々を過ごしている。本日は剣道部の県大会が行われている。東海大会には女子バレーボール部、男子ソフトテニス部(個人)が出場することになった。

昨日は校内発表を行い、文化部の高い芸術性と祭りの楽しさが良い具合に融合して、とても良い発表であった。生徒も仲間の成果をしっかりと見る部分と、お祭りを楽しむ部分としっかりとけじめをつけることができていた。本日は一般公開ということで、おもてなしの心を持って接してほしいと思っている。

また、昨年度に引き続きドイツからの留学生を受け入れている。日本の習慣にも馴染んできて、とても良い生活が送れている。

6 函嶺祭実施内容の説明(説明者：生徒会会長・副会長)

スローガン「祭(さい) & 幸(こう)～他にはない学校祭を～」について説明。このスローガンには、三南色に溢れる誰もが幸せになる祭りにしようという意味と、最高の思い出になる函嶺祭にしようという意味が込められている。

展示や企画について説明。各学年での探究活動の展示、地元企業と協働し、自ら企画を考えた3年次生の模擬店、各部活の展示や販売、試合や体験教室など、見どころが沢山あるのでぜひご覧ください。

(大嶋会長)

ユニークなスローガンでとても良いと思う。

(植野委員)

企画、運営などを行うことは、将来につながることである。クラスTシャツの投票も良い企画である。

7 議事(司会：大嶋会長)

(1) 総合的な探究の時間「自覚探究」の取組について

(説明者：図書探究課長 太田 堅一朗教諭)

ア 本校における「探究活動」の位置づけ

「自覚探究」という名称で火曜日の7時間目を中心に3年間で105時間以上、3単位で実施している。本校のグラデュエーションポリシーである「課題の発見、他

者との協力、解決に向けた行動、主体的な学び、地域社会に参画」という探究の要素に基づいて3年間の活動を計画している。

イ 3年間の「探究活動」の流れ

1年次生「自己と地域」

- ① 自己探究として、自己理解を深め、他者理解へと繋げるため自分のロゴマークを作成し、発表展示を函嶺祭までに行った。
- ② 地域探究として、地域に関する課題をグループで設定し、情報を整理して分析して発表することにより、探究の基礎的な技術を学んでいく。

2年次生「自己と社会」

- ① 社会探究として、20の学問分野から自分の進路希望に関わる分野を選んでその分野に関する課題を設定し、情報を整理・分析し発表を行う。
- ② 未来探究として、自分の進路に関する志望理由を深め、表現する活動を実施していく。

3年次生「自己と未来」

- ① 未来探究として進路課と共同して小論文や面接等に向けて志望理由を更に深め、自己の未来像を確かなものにしていく活動を実施していく。

その他、探究活動発表会（2月3日）や探究リーダー養成塾（8月）の実施や、校外で実施される探究活動イベントへの参加を促していく。

ウ 函嶺祭での探究活動の展示

1年次生 「自分のロゴマーク」展示

2年次生 「地域探究」のスライド展示

3年次生 「自分の興味関心、学問・社会探究」のスライド展示

（山下委員）このような活動は、非認知能力を高めることができるので、ぜひ継続してほしい。どのように変わったか計るのは難しいが、ぜひ数値化して検証をお願いしたい。

（太田課長）探究活動についても各学年評価を行なっている。点数で計れない部分の能力を見ていく教員の意識も高めていきたい。また、探究学習を取り入れた大学入試や、面接で探究活動について聞かれたりすることも増えているので、対応できるようにしていきたい。

（校長）本校のスクールミッションやグラデュエーションポリシーにも、探究活動により身に付く力が表されている。今年度2・3年次生での探究活動が小論文や面接など、進路に役立てることができた。ぜひ来年度も引き継いでいきたい。

（大嶋会長）社会に出て課題を解決する力や人間力は必要である。機会があれば卒業生に意見を聞くのも良いのではないかな。

（寺村委員）探究活動は、将来のことを考える力を育てることができて、子どものためになっていると思う。

（宮内委員）普段の教科とは違う分野を学ぶことによって社会性を養うことができ、良い活動であると思う。

（植野委員）高校生ではなく、もっと小さいうちから柔軟な社会性を養う必要があるのではないかな。

（岩田副会長）どんな職業があるか調べたり、何を学びたいか考え、人の意見を聞いたりすることで自分の将来に役立てることができ、とても良い取組である。

（大嶋会長）なかなか難しいかもしれないが、数値化できるよう研究していただければと思う。

(2) 「カジュアル・デー」について（説明者：教頭）

昨年度厳冬期に実施し、今年度は酷暑期に予定している。期間は7月7日から18日までと、9月1日から12日までの各2週間で行う。事前に生徒会や女子生徒を中心に15人ほどの生徒と意見交換を行い、大まかな基準を決定した。生徒も自覚を持ってふさわしい服装を考える良い機会としたい。

（岩田副会長）生徒は楽しみにしているのか。

（教 頭）意見交換会を3回行ったが、自主的に毎回15人程度の生徒が来て、積極的な質問があったので、関心が高いと思われる。

（山下委員）とりあえずやってみて、また改善するスタンスで良いと思う。

（寺村委員）前は友達と話し合っただけで服装を決めたようだ。楽しんでいると思う。

（宮内委員）オシャレするという意識よりも、過ごしやすい服を選んでいた印象である。

（大嶋会長）他校からの注目度はどのくらいか。

（教 頭）何件か問い合わせがあったと聞いている。

（校 長）前回の厳冬期の実施は、生徒がどのように受け止めるかをみるものであったが、酷暑期の実施については、暑さ対策という切実な課題解決に対応するために行う。場合によっては、実施日が伸びる可能性もある。

（岩田副会長）生徒からの反対意見はあるのか。

（教 頭）必ず私服というわけではなく、制服も着て良いことにしている。また、制服で登校してきて私服に着替えることや、私服で登校してきて制服に着替えることも良いとしている。

（校 長）前回実施の3日間は、友達と話す話題も増え、生徒の表情が明るく感じられた。欠席数も減ったようである。

8 報告事項（副校長）

(1) 令和7年度部活動結果報告

女子バレーボール部 東海大会、中部日本6人制総合男女選手権大会出場

男子ソフトテニス部 東海大会出場（4年ぶり）

(2) その他（新聞掲載記事報告）

9 閉会（岩田副会長）

今日は校内を見学して、お揃いのクラスTシャツで模擬店の運営や呼び込みをする姿など、楽しそうに活動する生徒の様子を見ることができた。各学年の探究活動については、3年間の流れが分かり、生徒が主体的に活動し成長していく姿を楽しみにしている。また、カジュアル・デーの実施など、三島南高校ならではの取組をこれからも発信してほしいと思う。

10 今後の予定

第3回 11月8日（土） オープンスクールの授業見学と諸課題の協議

第4回 2月3日（火）（予定）探究活動発表会見学、年間反省・評価